

ツクシボウフウ

学名 *Pimpinella thellungiana* H. Wolff var. *gustavohegiana* (Koidzumi) Kitamura

目名

目名学名

科名 セリ科

科名学名 Umbelliferae

カテゴリー 大分県：ⅠA(CR) 環境省：Ⅱ(VU)



[選定理由]

火山性高原の草原を生育地とする。生育地は草地開発や土地開発などが進み、さらに植林や植生遷移の進行により生育地が減少して、絶滅の危険性が極めて高くなっている。

県内分布	九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地
分布域	九州(大分)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や低山地の草原や林縁。
現 状	生育地の草原が各種開発で改変され、植林や路辺の草刈りなどで各地の生育地が著しく消滅している。
備 考	大分県特産種。基準標本産地[九重町三俣山] 母種(コウアンボウフウ)は、東シベリア、アムール、ウスリーなどに分布している。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]